

神林地区のまちづくり



平林：みどり豊かな里山「松沢湿原」
立ち上げ事業（松沢集落）

平林・砂山
神納・神納東・西神納

まちづくり協議会



砂山：花いっぱい事業



神納：クリスマスイルミネーション（河内集落）



神納東：収穫感謝祭（志田平集落）



西神納：集落清掃・環境整備（松喜和集落）

Contents

神林地区まちづくり協議会 令和4年度の活動	2・3p
かみはやし互近所ささえ～る隊について	4p
小・中学校との支援事業について	5p
小岩内区への災害支援	6p
市民厚生常任委員会との懇談会	7p
活動のワンショット	裏表紙

第14号

2023.3 発行

神林地区まちづくり協議会 令和4年度の活動

神林地区では5つのまちづくり協議会が地域の特色を活かし地域活性化や課題解決のために活動を進めています。このページでは令和4年度に各まちづくり協議会が実施した事業についてご紹介します。



平林地域まちづくり協議会

【元気づくり応援事業】イルミネーション事業

今年度については、8月3日に発生した豪雨災害により、当初より計画していた集落事業ができなくなった集落も多くありました。そんな中、平林集落では毎年恒例となっている「イルミネーション事業」を行いました。年末の風物詩となりつつある当事業では、一つの目標に集結できる機会として捉えており、子どもからお年寄りまで各種団体ら



約80名が参加し、点検作業から飾りつけまで行い、点灯式では色鮮やかなイルミネーションがあたり一面に広がり、参加者の心を癒しました。来年度は、各集落での活動が今年度以上に実施できることを強く望んでおります。

砂山地域まちづくり協議会

【課題取組を考える研修会】6月3日(金)

テーマ「助け合い、支え合う集落を今から考える」

砂山地域の集落役員約30名と当該まちづくり協議会の運営委員を対象に標記研修会を実施しました。講師には、都岐沙羅パートナーズセンター事務局長をお招きし、「助け合い、支え合う集落を今から考える」と題して、今後集落で起こり得る問題や課題、また実際の先進地域の実情などを取り入れたりするなどを様々な視点から分析し、資料に基づいてお話をいただきました。集落の役員の方々はとても真剣に聞き入っており、課題などを話し合う時間を設けた際には、予想以上に課題が出てきて盛り上がるなど、有意義な研修になりました。令和5年度は集落の事業計画を基に話し合う場を作って協議していきたいと考えております。



神納地域まちづくり協議会

【南大平笑楽校（みなみおおだいらしょうがっこう）】10月30日（日）

「助け合う、支え合う集落を今から考える」と題し学習会を行いました。都岐沙羅パートナーズセンターの事務局長を講師に、人口減少により空き家問題、生活弱者の困りごと、一人世帯の見守り、集落運営や共同作業の継続困難などの問題に対し、今から取り組むべき内容の講話後、課題について発表しました。その後、参加者全員でレクリエーションゲームを通して親睦と結束を強めるとともに、それぞれ考えている事業などについて懇談的に会話を進め、集落の課題について共有しました。



神納東地域まちづくり協議会

【本間至恩選手応援隊】6月19日（日）

自分たちが住む地域に誇れるものがあることを認識するため、神納東地域まちづくり協議会では郷土愛の醸成を図る活動を行っています。その一つである本間至恩選手応援隊の活動を実施しました。旧神納東小学校の卒業生であるプロサッカー選手、本間至恩選手を応援するために地域からの参加を募りアルビレックス新潟の試合観戦を行いました。ハーフタイムには村上市と合同でのぼり旗や横断幕、自作の応援グッズなどを持ってサッカーコートの周りを歩き、村上市及び神納東まち協のPR活動を行いました。



本間至恩選手は令和4年7月に村上市スペシャルアンバサダーにも就任して現在はベルギーのクラブへ移籍して活動を行っており、今年度と同じように試合を直接観戦は難しいですが、令和5年度も応援隊としての活動を継続して行ってまいります。

西神納地域まちづくり協議会

【花いっぱい運動・環境整備活動】（各集落）

各集落では、集落内の美化活動として公園内の草刈りや、集落内のごみ拾い、通学路の整備活動。また、公園内には花壇の整備を行い花の植栽を行いました。中には、各家庭に花の苗を配布し集落内の景観美化を図った集落や、地藏様祭り時に子ども会で周辺の清掃活動を行い集落の皆さんをお迎えし、ふれあいを図った集落もありました。

地域内の集落には小学生以下の子どもがいない集落もあり、参加者の多くが高齢者で無理のない範囲で継続的に活動を行っている集落もあります。少子高齢化が進み、今まで以上に支え合う事が必要だと感じています。

新型コロナウイルス感染症が収束し通常の活動ができることを願っております。



かみはやし互近所ささえ～る隊では住民の皆さんが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために、みんなでささえあう地域に合った「助け合いのしくみ」づくりに取り組んでいます。

令和4年度の活動は令和4年11月9日、16日の2回に分けて老人クラブの皆さんとのワークショップを行い老人クラブとして地域に対してできることや個人として地域にできることを話し合いました。話し合いの中では並べきれない程自分たちのできることが挙げられて意欲的に取り組んでいただきました。

手伝いを「頼みたい人」と「できる人」が気を遣わずに頼みやすい「しくみ」づくりを皆さんと一緒に考えていきます。



毎月8日は、「かみはやし♡ささえ愛の日」として、告知端末で支え合いに関する放送を流して皆さんに呼びかけを行っています。

ちょっと声をかけてみる、無理をせずにできること！などの小さな支えあいを少し意識してみませんか？



「ささえあい授業」で「自分ができささせあい」を考える

～かみはやし互近所ささえ～る隊活動より～



3月3日（金）、神納小学校4年生の総合学習で「ささえあい授業」を行いました。

今年度は福祉の勉強をしていた4年生。高齢者や車いすの疑似体験視覚障害や聴覚障害の体験もしたことで、歩くのが大変、見えないと怖いなども感じているようでした。

【ささせあい子どもかるた】を使って、自分ができささせあうことなど、グループでかるた取りをしました。

まず、ささせあいはお家の中での協力からということで、料理や風呂掃除、草取り、雪かきなどの手伝いや小さな子どもの遊び相手や勉強を教える、新聞や手紙を読んであげるなど46枚あるかるたを全て選んだグループもありました。また、集落センターの掃除や

行事の参加、高齢者と一緒にスポーツをする、避難訓練の手伝いをする、児童公園の掃除、老人クラブの皆さんと交流会など1人ではできないけれどみんなで協力すればできることもたくさんありました。

そして既に「やっているよ」という声もたくさんありました。

回覧板を持っていくとか、洗濯物を取り込むとか、稲刈りや田植えの手伝い、ペットの散歩、バスや電車で席をゆずるなど、ささせあいができていることもわかりました。

最後には、「毎月8日はささせあいの日です。どんな小さなことでもよいのでみんなやってみてね」に「は～い」と元気な返事をもらいました。頼もしく元気な子どもたちでした。



小・中学校支援事業

より良い

学びの場をサポート

中学校へは防音キャップを、
小学校へは卒業生に記念品
を贈呈



神林地区5地域
まちづくり協議会
では地域の小中
学校と連携して事業
の実施や小中学校への支援を行っ
ています。1月30日(月)に5地
域まちづくり協議会合同で神林中
学校へ教室の椅子脚に付けるフェ
ルト素材のキャップを贈りました。
神林中学校から「所有する机椅子
も長く使用して使いづらくなっ
てきている。引きずる音がうるさ
く授業に集中できないことも見
受けられる。」という話を受けて生徒
の皆さんに快適な教室で授業を受
けていただきたいとして支援を行
いました。



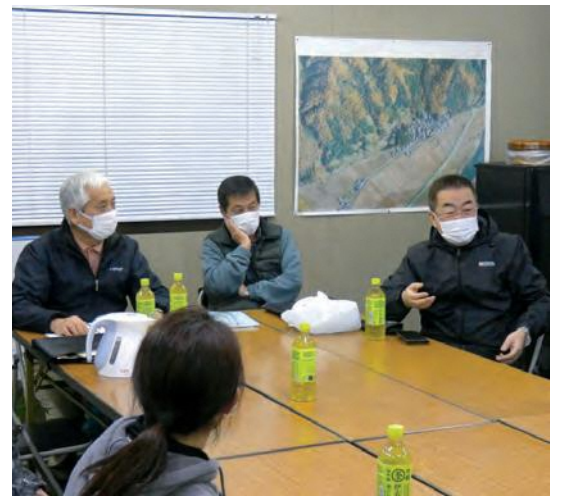
平林小学校、神納小学校へは支援
として卒業する6年生へ卒業式に贈
り物を贈呈いたしました。令和4年
度は新型コロナウイルス等、昨今の
情勢から活動が難しい状況でしたが、
まちづくり協議会では子どもたちの
元気な姿が地域活性化の礎であると
考え小中学校と連携して活動を進め
てまいります。

神林地区5地域まちづくり協議会から 小岩内区への支援



YAMAHA 発電機
品名：EF1800is
ワット数：1800W

令和5年1月26日(木)に神林地区5地域のまちづくり協議会から小岩内区へ発電機を寄贈いたしました。受け渡しの際には神林地区のまちづくり協議会を代表して、砂山地域まちづくり協議会の佐藤修平会長から小岩内区の松本一男区長へ謹呈文が手渡しされました。小岩内区の役員方からは「多くの方々から様々なご支援をいただき感謝している。小岩内区はまた元気な姿を取り戻したい。今後も小岩内区の活性化に向けて活動を進めるにあたっては、まちづくり協議会のご助力を願いたい」と感謝と将来志向な力強いお言葉をいただきました。まちづくり協議会は地域毎に活動を行っておりますが、多様な事業で連携し、有事に協力のできる体制づくりを行います。



**ボランティアに若い力
中学生が自主参加**

神林地区の各まちづくり協議会で8月20日(土)、21日(日)に災害支援ボランティアに参加しました。神林中学校三年生の7名も、まちづくり協議会と一緒にボランティアに参加してくれました。中学生たちは自発的に考え参加をしてくれました。

今後もまちづくり協議会では地域集落の防災の更なる意識向上に向けて活動を進めてまいります。

市民厚生常任委員会との懇談会



令和4年11月7日(月)、村上市市議会議員で構成される市民厚生常任委員会と神林地区5つのまちづくり協議会役員とで活動の課題や意見交換等を目的に懇談会が開催されました。(懇談会の内容を一部抜粋)

まちづくり協議会の活動への課題

平林まち協…8月豪雨災害のため様々な事業が滞っている状況である。

神納まち協…地域交流ということでは運動会の開催なども行っていたが集落によっては人手不足から選手選考が厳しい状況である。

害獣被害が多いことに非常に困っている。対策も取っているが被害が減らず、農業を

辞める人も出てきているような状況である。

砂山まち協…以前は文化祭や盆踊りなどを開催していたが、参加者が少なくなり、実施できていない。一番の課題はマンパワー

がなくなってきたりしている事なのかもしれない。私の住む町内でも空き家が多く31件中11

件が空き家でまち協としては非常に活動しづらい状況である。

神納東まち協…旧神納東小学校校舎は現在子育て支援の施設として運営されており、とても良い形での活用方法だと思いが、グラウンドでの運動会開催などは使用が難しい状況になっている。

西神納まち協…西神納地域は大小様々な集落があり、まち協の事業に対しても集落によって温度差があるように感じる。コロナの影響や子ども減少などもあり現在では中止としている。またその他の行事に関しても様々な理由から実施できていない状況である。

市民厚生常任委員会からの意見

市厚委…学校の統廃合で状況が変わる中、校舎の問題は議会でも議題にあがる。地元の方々話し合いも検討していると聞いている。また害獣被害は向ヶ丘保育園で猿が集団で園庭に入り送迎にも影響があったと聞いている。

市厚委…神納東地域の話にあった廃校後の校舎の利活用については、地元の方々の利用も考えなければならぬ。また区長会から道の駅に全天候型のイベント施設の建設についての要望があった。まちづくり協議会でも発信していただきたい。

市厚委…平成24年から令和4年間で、どの地区も人口減少率が10%を超えるなか、神林地区の神納東、西神納においては減少率が少ないデータがでてきている。なぜ神納東と西神納で人口減少率が低いのか理由を考える事がヒントになるのではないかと。砂山地域の話に文化祭などがなくなっているところだが、岩船地区では3年ぶりに文化祭が開催され、歴史文化を子ども達に伝えるため出品をして好評だった。瀬波から岩船、塩谷にかけては伊能忠敬が測量したとされている3地域合同でのイベント開催。また岩船と塩谷はお幕場つながっている事をもとにイベントを開催するのも良いと思う。

神納東地域の本間至恩選手について現在はベルギーで活躍されているが、情報を目にする事がないのでSNSや村上市ホームページなどで発信し応援している事をアピールすることも良いと思う。

出席者(敬称略)

■村上市議会

市民厚生常任委員会

委員長 長谷川 孝

副委員長 鈴木 一之

委員 菅井 晋一

委員 富樫 雅男

委員 鈴木 好彦

委員 稲葉 久美子

委員 木村 貞雄

■神林地区まち協

平林地域まち協

会長 小池 利也

副会長 木村 竜也

砂山地域まち協

会長 佐藤 修平

神納地域まち協

会長 小田 徹

副会長 佐藤 雅晴

神納東地域まち協

会長 八藤後 瑞枝

副会長 中山 豪

西神納地域まち協

副会長 森田 義孝



指合集落 責の神



関係人口創出事業「ハロウィン&かかし祭」



3地域まちづくり協議会合同防災研修会
(神納・神納東・西神納)



お幕場クリーン作戦 (砂山まち協)



高御堂集落 花いっぱい運動



山元遺跡視察研修会
(神納東まち協と国指定史跡山元遺跡保存会連携事業)

令和5年度は神林地区中学生以上 全住民アンケート調査を実施します

神林地区では、まちづくり協議会毎にアンケート調査を実施して第5次まちづくり計画(令和6年度~)策定に向けたまちづくり協議会の活動における地域・集落ニーズの把握や集落の課題など実態を把握するために実施します。

アンケート調査はこれからの自集落にとってもとても重要な指標となるものです。より多くの皆さまからご回答いただきますようご協力をお願いいたします。

アンケート用紙は6月1日以降、集落区長を通して皆様へお配りする予定です。



Instagramで神林の魅力を発信しませんか。「#かみはやし」

App Store



Google Play



神林地区関係人口
創出事業実行委員会

Instagramやってます!